



## プレスリリース

### 委員会が成長に向けた政策内容を確認

**“The Growth Report”によれば、途上国が世界経済に参加し、専任の代表者を擁することで、短期間に持続的かつ均衡な成長を達成することが可能である**

ロンドン、2008年5月21日 – 急速かつ持続的な成長は夢ではない。途上国のリーダーがそれを約束し、世界経済が提供する成長機会を利用すれば、成長の達成は可能である。途上国は、経済の長期的な多様化および世界経済への統合につながるような成長をスタートするための民間投資に必要な、インセンティブおよび公共投資の額を知る必要がある。以上のことは、今日発表された Commission on Growth & Development (成長および発展に関する委員会)によるレポート、*“The Growth Report: Strategies for Sustained Growth and Inclusive Development”* (成長レポート: 持続的成長と包括的な発展のための戦略)に主な調査結果として掲載されている。

**「先進工業国における成長が急激に減速を見せる中で、世界の最貧国の多くが成長を達成し難いものと捉えています。これは我々の考えですが、持続的な高成長は説明可能かつ繰返しが可能です」**“Growth Report”は、(委員会に)各国の経済に関連する難しい意志決定を行った経験のあるエコノミストおよび政策担当者を集め、包括的な高成長を達成するための意志決定の枠組みを提供するものです」と、委員会会長でノーベル賞受賞者であるマイケル・スペンス氏は語っている。

“Growth Report”は、第二次世界大戦後、25年間以上の期間にわたって7パーセント以上の成長率を実現した、成長率の高い経済国の目立った特徴を挙げ、途上国がこれをどう見習っていけばよいかを問うている。

スペンス氏は、**「“Growth Report”は、成長なしで人々を貧困から救い出せるとの誤った見解を今回限りで改めました。成長は、人々を貧困と辛い労働の両方から救い出すことができます。また、インドは現在の中国に追いつくため、今後も13~15年間にわたって急ペースの成長を続ける必要があります、さらに中国もいまだ6億人の農業人口を抱えており、この人口がより生産性の高い都市エリアの労働力に移行してゆくと考えられるため、今後数十年間のうちに成長がさらに多くの人々を貧困から救い出すであろうと考えられます**」と語っている。

本委員会は、19名の経験豊富な政策立案者およびノーベル賞受賞者である2名のエコノミストが率いる、途上国における持続的かつ包括的な成長のための要求事項に関する2

年間の作業から組織されたものである。委員会の作業はオーストラリア、スウェーデン、オランダ、イギリスの各国政府および、ウィリアム&フローラ・ヒューレット財団、ならびに世界銀行の支援を受けている。

本レポートは、現在の食料価格の上昇継続による脅威を指摘し、貧困層を価格上昇から保護するための迅速なアクションを求めており、栄養失調と収入の低下が長期的な成長を鈍化させるであろうと警告している。

本レポートが食料価格上昇に対処（現在のエネルギー事情がいったん解決した後）するために推奨しているアクションとして、輸出制限の解除、急激な価格変更に対応しきれない弱者を保護するためのより効果的なセーフティネットと再配分機構、および農業向けインフラ投資の回復がある。本レポートではこのほか、食料よりもバイオ燃料を支持する政策の見直しと、必要に応じて政策転換によりバイオ燃料用の備蓄および在庫を蓄積して一時的な不足状態を緩和することを強く求めている。

加えて本レポートでは、数を増しつつある影響力のある国々の政策を調整するため、および世界金融システムの安定性を守るための機構の確立を要求している。新しいグローバルプレーヤーの経済的な重要性が増していることから、レポートは世界的な責任と意見の表明のリバランスについて論じている。

信用収縮が経済先進国に影響を及ぼしている現在、本レポートは途上国における強力な金融システムの重要性を強調し、銀行による過剰な与信拡大を防止するため、銀行部門を慎重に監督すること、ならびに金融市場の成熟との協調に限り資本規制を行うことを強く訴えている。

本レポートに掲載されているその他の結論は以下のとおり。

- 貧困の減少と人々の生活改善にとって、成長は不可欠の部分である。成長なくして貧困国の多数の人口を貧困から救い出すことは不可能である。機会の均等と、個人や家族、男女不平等、経済の安定の重視はただし、成長志向の政策に対する支援を維持するために不可欠である。
- 成長は、リーダーシップ、忍耐、体力、プラグマティズム、透明性、および人々の支持が必要な長期的課題である。
- 成長には、成長の初期段階において不可欠の知識と技術を輸入し、市場にアクセスし、強力な輸出分野を創出するため、世界経済への参加が必要である。
- 成長は包括的でなければならない。本レポートでは、グローバル化による利益の共有、弱者へのアクセスの提供、両性の包括性の問題への対処の重要性が強調されている。認知スキルおよび非認知スキルの習得における長期的な障害を避け、教育システムからより大きな利益を享受し、さらに職場環境における効率性を向上できるようにするための、幼児および児童時期における栄養の重要性を指摘している。
- 資源、特に労働資源は、流動的でなければならない。本レポートでは、輸出志向の産業が正規市場で支配的な条件よりも緩やかな条件で、同時に必要不可欠な労働衛生安全や就業時間および児童労働に関する労働者保護の条件は正規市場と同等として、労働者を採用することを可能にすることにより、分断されている正規および

び非正規の労働市場間の隔たりを埋めることも推奨している。移民希望者や人口統計についてのより良い管理を行う必要性を強調。

- レポートは成長には高額の投資が必要とし、公共および民間部門全体の投資額をGDPの25パーセント以上とすることが必要であると提案。
- 教育および健康への投資は、特に重要である。委員会では、生徒の読み書き計算能力の測定による、より広範な研究および、教育システムにおける女性の機会向上も求めている。
- 途上国におけるエネルギー消費の助成金として支出された金銭は、誤った用いられ方をされている場合が多い。資源を教育およびインフラに投資した方がよい。さらに助成金は、エネルギー効率とは無関係の長寿命の資産への資本投資へと偏り、経済の構造的な発展を悪い方に偏らせてしまうおそれがある、とレポートには述べられている。

最後に、本レポートでは、環境負荷削減目標を世紀半ばまでとしたことは非現実的であり、負荷削減の実際のコストが計算可能な10~15年のタイムスパンがより実現可能であるとしている。レポートはまた、先進国における1人あたりCO2排出量は世界最高レベルにあることを認識しており、新興国の国民1人あたり所得が先進国レベルに達するまで、全負荷削減コストを負担することを拒否している。

マイケル・スペンス氏は、次のように述べている。**「成長にはリーダーシップ、粘り強さ、そして世界経済への参加が必要です。成長には、経済先進国がその役割を果たすことも求められます。つまり現在のエネルギー助成金およびバイオ燃料への集中を終わりにし、成長の中心を担う途上国の世界市場への参入を制限する保護政策を止めることです。」**

ノーベル賞受賞者であるロバート・ソロー教授は、次のような見解を述べている。

**「我々の作業で得られた証拠から、多くのことが明らかになりました。経済発展のすべての段階において競争は絶対不可欠であること、世界市場への参入は豊かな国にも途上国にも同様に教訓を与えること、そして成長が公平であればあるだけ持続性も高まる可能性があるということです。リーダーシップおよびガバナンスは、国民の大部分に支持されて初めて機能します」**

“The Growth Report”では、国は同質ではなく、一国の政策が他のいずれの国でも機能するということはないとしている。ではあるがレポートは、アフリカ諸国、小規模国、資源国、および成長が中断している中所得国の4つの国のまとめについて、注目すべき領域を強調している。レポートでは以下の事柄を推奨している。

- アフリカの頭脳流出を補うため、先進工業国が、アフリカの高等教育の充実に資金を提供すること。レポートでは、経済先進国がすみやかに、アフリカ諸国の後発国としての不利益を克服するため、アフリカ諸国製品の輸出品に対して、期限付き貿易特恵の実施を認めることも推奨している。
- “Growth Report”は、小規模国においてはより大規模な地域経済の統合、および一部連合による公共サービスの負担分散によって、実効的な政府にかかる1人あたりコストの低減を支援することを推奨している。グッドガバナンスも、地域協力および複数

国家の統合を構築するための重要な基礎をなす部分である、とレポートには述べられている。

- 資源国におけるガバナンスの向上、資源国における資源を利用している主体と政府間の利益の、より高い均衡性と透明性。
- 中所得から高所得への経済状態の遷移に合わせた、高等教育およびイノベーションに対する投資の拡大。

委員会の副委員長、ダニー・ライブヰィガー氏は、次の発言を付け加えている。「我々は、長期的に継続する包括的な成長を創出するための特効薬はないこと、そしてただ1つのパラダイムなど存在しないことを痛感しています。言うまでもないことだが、委員会は、ソロ教授が述べたように、包括的な成長の基となる成長レシピの材料を形作ることが必要な、不可欠な要素の特定に努めました。」

“Growth Report” は本日、ロンドン、カイロ、ケープタウン、ニューヨーク、およびセントクリストファーで開始され、今後数週間にわたって数多くの地域討論イベントの中心となる予定である。